

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	選択
担当教員			
野田 章子			

講義概要	<p>①イメージあそびの実践 身近なものを使った遊びの実践 ことばを使った遊びを実践                  ②ボールを使ったあそびの実践 フープを使ったあそびの実践 なわを使った遊びの実践                  ③表現あそびの計画をする 表現あそび環境構成を考える 表現あそびの援助方法を知る                  ④リズムあそびの計画をする リズムあそびの環境構成を考える リズムあそびの援助方法を知る                  ⑤作品づくりを実践する 発表を体験する 鑑賞を通して自分の活動の評価を行う</p>
授業計画	<p>1 子どもリズムとは 授業のねらいと内容について</p> <p>2 リズム表現あそびとは① 「内的リズム」を感じてみよう</p> <p>3 リズム表現あそびとは② 「4つのくずし」を使ってみよう</p> <p>4 自由に動こう① 「ボール」とリズム表現あそび</p> <p>5 自由に動こう② 「フープ」・「なわ」とリズム表現あそび</p> <p>6 自由に動こう③ 「紙」・「布」とリズム表現あそび</p> <p>7 自由に動こう④ 「イメージ」をふくらまるあそび</p> <p>8 リズム表現あそびの指導と援助① 「風船になるう」「スローモーション」「どんな音かな」など</p> <p>9 リズム表現あそびの指導と援助② 「ひらがなにな〜れ」「いくつつつつく」「みんなでチチンブイ」など</p> <p>10 リズム表現あそびの指導と援助③ 「トンネルシュポッポ」「みんなの演奏会」「橋作り大作戦」など</p> <p>11 リズム表現あそびの成果と評価① リズム表現あそびから発表会へ</p> <p>12 リズム表現あそびの成果と評価② イメージづくり</p> <p>13 リズム表現あそびの成果と評価③ 動きづくり</p> <p>14 リズム表現あそびの成果と評価④ 発表会</p> <p>15 まとめ 「自己表現」と「自己実現」について</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①表現あそびとは何かを理解する                  ②リズムあそびとは何かを理解する                  ③表現あそびの指導法と援助法を理解する                  ④リズムあそびの指導法と援助法を理解する                  ⑤「自己表現」と「自己実現」を理解し、評価の方法を考える</p> <p>課題への取り組み、学習ノート、発表を総合して評価をおこなう                  課題への取り組み (50%)、学習ノート (40%)、発表 (10%)</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：必要に応じて資料を配布                  参考書：『あ・た・ら・し・い表現遊び』 小谷隆真 著 鈴木出版</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習 (自主学習)】学習ノートなどをつくり授業内容をまとめておくこと